

アニメ・マンガの日本語～ジャンル漢字の特徴をめぐって～

熊野七絵・川嶋恵子

< 英文要旨 >

In this article, we attempted to analyze the features of kanji that appear in anime and manga. For the data, we elicited 1000 words for 4 genres (Love, School, Ninja, Samurai) from 69 anime and manga works popular overseas, and selected a Basic Kanji 100 (single kanji) and Intermediate Kanji 150 (kanji words) based on how often they appeared.

We analyzed the data from 5 perspectives: 1) Comparing the Basic Kanji 100 to the JLPT kanji level; 2) showing the coverage rate of kanji words in the 1000 genre words by the Basic Kanji 100; 3) parsing the Basic Kanji 100 into nouns, verbs, adjectives; 4) semantically categorizing the Intermediate Kanji 150, and 5) pointing out common kanji that appear frequently among 2 or more genres.

The results show that 90-98% of the Basic Kanji which appear in anime and manga are within the level of JLPT standard and these Basic Kanji cover 46-59% of kanji words for each genre. Also, each genre kanji is characterized by the proportion of the parts of speech and its semantic category, and specific kanji appear frequently in 2-4 genres.

This implies that kanji frequently appearing in anime and manga are applicable to standard Japanese language education, and also may contribute to enrich the vocabulary needed to read a specific genre of manga. Thus, for application to the classroom it would be effective to select a specific genre suited to students' needs and levels, and to show the link from basic kanji to kanji words, making use of the characteristics in parts of sentences and semantic category of each genre. Finally, students can be given experience of success in reading manga of a specific genre, to motivate them to learn more kanji.

1. はじめに

近年、世界中でアニメ・マンガ¹をきっかけに日本語学習を始める者が増えている。また、アニメ・マンガ等で得た日本への関心から、日本研究の道に進んだり、日本への留学や進学を希望したりする者も多い²。国際交流基金関西国際センターは、このようなアニメ・マンガ好きの日本語学習者の動機づけを目的と

して、アニメ・マンガに現れる日本語表現を楽しく学べる E ラーニングサイト「アニメ・マンガの日本語」(<http://anime-manga.jp>)を開発した³。

同サイトの開発においては、日本語学習者や教師を対象とした聞き取り調査を実施したが、その中にはアニメ・マンガに現れる日本の文字から日本語に興味をもった、また日本語で理解できるようになりたいと思ったとの声もあった⁴。

- ・ アニメの最後に出る「つづく」の文字がかわいいと思って、日本語に興味を持った。
- ・ テレビアニメが放映される時、「魚屋」「神社」などの看板、手紙やメモ、主題歌の歌詞など、日本語のままなので、おもしろい文字だな、知りたいなと思った。
- ・ マンガのオノマトペは翻訳版でも日本語の文字のまま。迫力があり、意味がわかるともっとおもしろいと思った。
- ・ マンガならわからない言葉や漢字があっても絵などを助けにストーリーがわかるので、抵抗なく読むことができる。日本語がわかれば最新作が読めるし、翻訳版よりもニュアンスがよく伝わるので、日本語の原作マンガを読めるようになりたい。

このように、アニメ・マンガは話し言葉としての日本語だけでなく、日本語の表記や日本語で読むことに対する興味喚起や学習動機づけともなっている。しかし、アニメ・マンガに現れる日本語表現の特徴に関する先行研究において、これまで用語、オノマトペ、性差、方言、役割語、談話表現の特徴に関する指摘はあるが、表記、特に漢字に焦点を当てたものは管見の限り見当たらない⁵。

そこで、本稿では、アニメ・マンガに現れる「ジャンル表現」のうち、「漢字」に焦点を当てて、その特徴を分析するとともに、日本語教育への活用について考察する。

2. ジャンル漢字データの概要

2.1 データ抽出方法

- (1) 海外で人気のあるアニメ・マンガ 168 作品の中から恋愛・学校・忍者・侍の4ジャンルに該当する 69 作品を選出し、各ジャンルの用語 1000 を抽出した⁶。
- (2) 初級漢字 100 として、用語 1000 の中から、ジャンルに特徴的で基本となる単漢字 100 を抽出した。用語 1000 のうち、漢字を含む用語に表れる頻度をもとにリスト化し(表 1)、ジャンルの基本的な動詞、名詞、形容詞など、単漢字で語として成立する漢字(例 1)、また漢字熟語を構成し、複数の語で利用されるジャンル内での応用力、頻度が高い漢字(例 2)であることなどを条件として選定した。
- (3) 中上級漢字 150 として、用語 1000 の漢字を含む用語のうち、出現頻度の

高い単語を抽出した。(例3)

表1 恋愛漢字、頻度順一覧の抜粋例

気	36	気持ち、気持ち(が)いい、気になる、気分、気づく、気にする、気のせい、気まぐれ、気安く、気合入る、気ィ多い、気ィ引く、気がある、気が変わる、気に入る、気にかける、気後れする、気の迷い、気味悪い、色気、本気、浮気する、浮気、浮気者、人気者、平気、意気投合する、人気、勇氣、陽気、いい気になる、雰囲気、嫌な気はしない、その気になる、無邪気、かわい気がない
女	27	女の子、女、女子高生、女子、女心、女たらし、女の子らしい、女癖が悪い、女ウケ、女好き、女連れ、女なれ、女の敵、女の武器、女子生徒、女性、彼女、処女、男女、彼女にする、貴方、処女喪失、いい女、俺の女、美少女、あの女、前の彼女
人	20	人気者、人生、人気、人妻、人でなし、人並み、人のいい、人の男、人見知りする、恋人、美人、大人っぽい、恋人同士、他人、二人きり、一人暮らし、二人乗り、いい人、男の人、頭の切れる人
男	17	男、男ウケ、男の子、男前、男らしい、男子校、男女、男をあさる、男好き、男慣れする、男の人、男の本能、男もの、男性恐怖症、いい男、人の男、フェミ男
恋	17	恋、恋人、恋愛、恋する、恋心、恋人同士、恋が生まれる、恋に生きる、恋に落ちる、恋路、恋の傷、恋愛感情、失恋、遠恋、初恋、次の恋
感	14	感じる、感激、感情、感じいい、感覚、感動する、快感、予感、鈍感、敏感、いい感じ、親近感、恋愛感情、ユーエツ感
手	14	手を出す、手エつなぐ、手に届く、手の早い、手ごわい、手作り、手伝う、手料理、相手、相手にする、苦手、勝手、お手入れする、上手
好	13	好き、好意を持つ、好きな子、好み、好かれる、好意、好奇心、好きでたまらない、好きにして、大好き、男好き、女好き、もの好き
見	13	見栄、見送る、見返す、見つめる、見栄っ張り、見かけ、見くびる、見透かされる、見た目、見とれる、外見、人見知りする、ちょっと見
情	13	情けない、情熱、純情、感情、強情、表情、愛情表現、純情、同情、発情、友情、欲情、恋愛感情
愛	12	愛して(い)る、愛する、愛、愛し合う、愛想をふりまく、愛情表現、愛の証、愛の力、恋愛

例1 忍者初級漢字 100、単漢字で語として成立する漢字例

名詞：影(かげ)、術(じゅつ)、書(しょ)、姿(すがた)、風(かぜ)、山(やま)

動詞：走(はしる)、勝(かつ)、逃(にげる)、探(さがす)、落(おちる)

形容詞：早(はやい)、危(あぶない)、厳(きびしい)、強(つよい)

例2 学校初級漢字 100、漢字熟語を構成する応用力の高い漢字例

学：学校、学園祭、学費、学食、学年、学力、学校中、2学期、中学生、留学

部：部活、部屋、部長、学部、野球部、新入部員、水泳部、テニス部、廃部

生：男子生徒、生活指導、生物係、先生、寮生、学生証、転校生、小学生

例3 侍中上級漢字 150:出現頻度の高い単語例

足軽、江戸、大奥、合戦、着物、曲者、稽古、下手人、剣術、竹刀、成敗
茶屋、天下、殿様、幕府、武士道、無礼者、名誉、身分、用心棒、浪人

2.2 ジャンル漢字データ

抽出された4ジャンルの初級漢字 100 (単漢字)、中上級漢字 150 (漢字語)を以下に示す(表2、3)。なお、「初級」「中上級」というのは、特定のジャンルのマンガにおいて基礎的な単漢字、応用的な漢字語というレベル分類であり、一般的な日本語教育における「初級」「中上級」とは異なる。

表2 初級漢字 100(4ジャンル)

恋愛	学校
愛、一、癒、色、嘘、腕、占、運、縁、男、女、顔、彼、傷、絆、子、恋、声、心、純、性、力、手、年、友、仲、話、人、本、胸、目、指、会、懂、遊、扱、生、疑、奪、恨、選、追、送、怒、押、落、勝、変、比、告、断、誘、信、抱、伝、包、連、照、泊、取、泣、悩、慣、寝、離、引、触、負、待、守、迷、見、持、妬、喜、別、笑、甘、幼、鈍、初、美、深、優、弱、悪、嫌、想、悲、感、気、苦、恐、寂、幸、好、楽、冷、恥、欲	遊、集、荒、受、教、落、覚、帰、書、学、勝、通、騒、叱、授、出、怠、習、入、読、礼、忘、英、科、級、組、系、欠、限、語、高、国、答、才、時、式、室、社、秀、塾、小、数、席、専、卒、中、机、点、問、届、年、罰、班、部、文、勉、祭、窓、門、休、優、理、寮、頭、員、男、親、女、係、子、師、職、長、徒、友、仲、案、位、裏、階、館、朝、噂、同、紙、敵、靴、実、新、全、題、力、隣、番、費、昼、服、難、名、悪
忍者	侍
足、集、危、生、行、一、命、印、上、動、討、奪、裏、追、掟、修、襲、恐、落、覚、隠、影、風、刀、勝、体、狩、変、気、木、敵、霧、斬、禁、薬、口、苦、消、幻、超、心、殺、怖、搜、刺、里、下、死、忍、縛、術、書、姿、空、倒、助、戦、散、使、伝、士、強、手、敵、解、毒、飛、捕、遁、投、波、逃、盗、狙、練、化、走、離、早、秘、火、封、法、滅、巻、負、守、身、水、認、見、目、潜、者、破、山、弱、分、技、渡	生、討、勝、斬、護、殺、刺、悟、死、酌、攻、倒、助、仕、突、継、勤、振、奉、参、負、貢、許、詫、情、望、魂、恨、恩、気、義、志、恥、礼、腕、首、血、腹、髷、官、悪、命、己、仇、客、侍、士、師、衆、将、強、敵、殿、姫、武、者、輩、若、懐、袷、袴、紋、柄、刀、劍、鞘、矢、刃、槍、弓、鎧、跡、家、戦、馬、奥、鬼、勘、傷、国、剛、酒、術、城、真、隙、筋、旅、力、罪、天、道、峠、藩、町、門、宿、世、流、技

表 3 中上級漢字 150(4ジャンル)

恋愛	学校
<p>愛し合う、愛情、相手、言い寄る、意識する、異性、一番、一緒、色気、印象、浮気、運命、笑顔、遠恋、臆病、落ち込む、男前、大人っぽい、同年、お守り、お嫁さん、快感、外見、可能性、彼女、我慢、彼氏、関係、感激、感情、勘違い、期待、記念、気分、拒否、禁句、偶然、釘付け、薬指、口止め、経験、携帯、軽蔑、化粧、結婚、倦怠期、幻滅、好意、強引、後悔、号泣、口実、強情、硬派、誤解、告白、個性的、最高、最低、逆恨み、作戦、刺激、自信、下心、失神、嫉妬、失恋、地味、邪魔、執着、瞬間、純情、紹介、障害、条件、上品、勝負、将来、親近感、真剣、進展、心配、親友、信用、素敵、素直、性格、誠実、清純、赤面、切ない、繊細、先輩、相談、退屈、大事、大好き、大胆、態度、抱き合う、頼もしい、ため息、誕生日、包み込む、出会い、手料理、同情、同棲、独身、特別、年下、戸惑う、友達、虜、鈍感、仲間、似合う、人気者、一目惚れ、秘密、表情、不安、不器用、侮辱、振り向く、雰囲気、平気、返事、包容力、本音、本命、見栄、密室、魅力、未練、無邪気、夢中、迷惑、目立つ、面食い、元彼、約束、勇気、誘惑、指輪、予感、理想、両思い、恋愛、別れ話</p>	<p>赤点、朝練、暗記、委員会、意見、居残り、遠足、屋上、音楽室、学生寮、課題、学級委員、学校、合宿、家庭教師、帰国子女、規則、球技大会、教育実習、共学、教科書、行事、教室、教卓、掲示板、下校、欠席、仮病、見学、更衣室、合格、高校、校舎、校長、講堂、後輩、購買、黒板、参考書、試合、試験、私語、自習、視聴覚室、実験、実力、私服、志望校、修学旅行、集合、秀才、授業、宿題、受験生、主将、首席、出席簿、職員室、食堂、女子、食券、新学期、新人、新任、親友、進路、推薦、数学、生活指導、青春、成績、生徒、制服、席替え、絶交、全国、選手、先生、先輩、早退、送別会、卒業、体育倉庫、大会、退学、体操、男子、担任、遅刻、茶髪、中退、調理実習、朝礼、追試、提出、徹夜、転校生、答案、同級生、道場、当番、特待生、図書館、友達、努力、夏休み、難関、日誌、日直、入学式、入試、人気者、寝坊、反省、非常階段、筆記用具、必修、昼休み、風紀委員、部活、復習、不良、文化祭、平均点、勉強、偏差値、放課後、暴力、補欠、保健室、母校、保護者、補習、没収、窓際、丸坊主、満点、名門、目標、模試、門限、問題児、優勝、友情、優等生、予備校、落第、留年、両立、廊下</p>
忍者	侍
<p>証、足手まとい、足止め、足の裏、網、殺める、争う、暗殺、伊賀、生き残る、一族、一人前、一番、一瞬、一心、一発、一服盛る、犬死する、命がけ、依頼、後ろ、空蟬、奪い取る、裏切る、恨む、英雄、煙幕、追いつく、追い忍、奥義、長、隠密、皆伝、返り討ち、覚悟、頭、仇、勝ち目、鎌、我慢、雷、火薬、身体、変わり身、間者、義、危険、傷口、狐、曲者、苦戦する、くノ一、首、訓練、下忍、気配、煙、剣、限界、幻覚、幻術、効果、甲賀、合格、攻撃、護衛、心得、木の葉、作戦、殺気、侍、刺客、仕掛ける、仕組む、使者、実像、実体、実力、指南、忍び刀、忍び狩り、忍の者、使命、集中、修行、修業、宿敵、手裏剣、正体、上忍、勝負、書物、記す、水牢の術、素早い、精神、戦術、先代、先手を打つ、体術、体得する、代目、力、致命傷、使いこなす、継ぐ、手荒い、手下、手を出す、道具、瞳術、動揺、毒薬、仲間、縄、憎い、忍者、忍術、忍法、任務、抜け忍、化け物、秘術、潜む、必殺、秘伝、人質、秘密、封印する、風神、武器、伏せる、ぶっ倒す、分身、変化、捕獲、任せる、巻物、乱す、密談、身を守る、目印、目標、戻る、薬草、山奥、殺る、勇気、優秀、油断</p>	<p>赤子、足軽、兄者、居合、許婚、生き様、居候、威張る、隠居、江戸、援軍、大奥、奥方、落武者、追手、恩人、覚悟、加勢、合戦、合点、家紋、観念、着物、急所、御意、公家、曲者、屈辱、稽古、怪我、下手下、決戦、外道、劍豪、劍士、劍術、高貴、降参、互角、心得、御所、小判、御免、今宵、最期、雑魚、殺気、参勤、参上、刺客、師匠、時代、失敬、質素、竹刀、師範、修行、宿場、宿命、城下町、將軍、正体、商人、勝負、素人、真剣、新参者、辛抱、素性、正義、成敗、関所、先刻、戦国、代官、大儀、大将、大名、太刀、達人、脱藩、致命傷、茶屋、忠義、町人、使い手、弟子、手筈、天下、天下無双、天誅、峠、道場、度胸、土下座、殿様、寝返る、年貢、野武士、背後、敗北、羽織、幕府、破門、藩士、飛脚、必殺、人斬り、百姓、奉行所、武具、武家、無様、武士、武士道、武将、不利、無礼者、触書、分際、奉公、宝刀、木刀、本分、丸腰、味方、見事、道連れ、身分、無傷、武者修行、無茶、無敵、名誉、免許皆伝、面子、猛者、門下生、役人、屋敷、野望、油断、容赦、用心棒、世継ぎ、世直し、流派、流浪人、浪人、脇差</p>

3. ジャンル漢字データ分析—目的と方法—

3.1 データ分析の目的

データ分析の目的は以下の2点である。

- (1) マンガに現れるジャンル漢字の特徴を明らかにする。
- (2) 日本語教育的な観点から分析し、日本語教育への活用の基礎資料とする。

3.2 データ分析の方法

上記の目的を果たすため、以下の5つの観点からデータ分析を行った。

- (1) 初級漢字 100 と旧 JLPT の出題基準レベルとの比較
- (2) 初級漢字 100 によるジャンル用語 1000 の漢字語カバー率
- (3) 初級漢字 100 の品詞分類
- (4) 中上級漢字 150 の内容分類
- (5) 複数ジャンルに現れる初級漢字

4. ジャンル漢字データ分析—結果と考察—

ジャンル漢字データ分析について、5つの観点からの分析結果を示すとともに、その結果を日本語教育への活用の観点から考察する。

4.1 初級漢字 100 と旧 JLPT の出題基準レベルとの比較

各ジャンルの初級漢字 100 と旧 JLPT の漢字レベル⁷とを比較した結果を表 4 に示した。数値はレベルごとの該当漢字数を示したものであるが、各ジャンルの総数が 100 であるため、%に読み替えることもできる。漢字データ抽出はマンガにおける出現頻度を重視したものであり、日本語教育的な観点から行ったものではないが、各ジャンルでの JLPT 級外漢字は 2-10%のみであり、ジャンル漢字のほとんどは JLPT の級内漢字であった。ジャンル別には、学校は 4 級、3 級の漢字が 46%を占めるなど、JLPT での初級漢字の割合が多い。一方、侍は 2 級、1 級の漢字が 72%と多く、難易度が高い。全ジャンルにおいて、2 級漢字が 36-56%と多くの割合を占めているのも特徴的である。

この結果から、マンガに現れる漢字は、通常の日本語学習で必要とされる漢字の範囲内であり、マンガに現れる漢字を学ぶことは、日本語教育上にも役立つことが示唆された。一方、ジャンルによる難易度の違いも明らかになった。学校→恋愛→忍者→侍の順で難易度が高くなるため、マンガを学習素材にする際には、学校ジャンルから始めると既習漢字も多く、理解しやすいと考えられる。また、ジャンルに関わらず 2 級漢字の割合がかなり多いことから、中級レベルの漢字学習において、マンガを活用すると効果的なのではないかと考えられる。

表4 初級漢字100と旧JLPTの出題基準レベルとの比較

	4級	3級	2級	1級	級外
恋愛	15	15	56	10	4
	一、男、女、子、手、年、友、話、人、本、目、会、生、見、気	色、運、顔、声、心、力、送、引、待、持、別、弱、悪、好、楽	愛、腕、占、彼、恋、純、性、仲、胸、指、遊、疑、選、追、怒、押、落、勝、変、比、告、断、信、抱、伝、包、連、照、泊、取、泣、悩、慣、寝、触、負、守、迷、喜、笑、甘、幼、鈍、初、美、深、優、想、悲、感、苦、恐、幸、冷、恥、欲	癒、縁、傷、扱、奪、恨、誘、離、嫌、寂	嘘、絆、懂、妬
学校	21	25	42	10	2
	書、学、出、入、読、語、高、国、時、社、小、中、年、休、男、女、子、長、友、新、名、	集、教、婦、通、習、英、答、室、問、文、勉、門、理、頭、員、親、館、朝、同、紙、題、力、昼、服、悪	遊、荒、受、落、覚、勝、授、礼、忘、科、級、組、欠、限、才、式、数、席、専、卒、机、点、届、部、祭、窓、優、係、師、職、徒、仲、案、位、裏、階、靴、実、全、番、費、難、	騒、怠、系、秀、塾、罰、班、寮、厳、隣	叱、噂
忍者	19	13	45	19	4
	一、上、下、書、気、目、口、手、足、山、土、火、水、空、木、行、見、生、分	者、葉、体、心、風、死、動、走、集、使、早、強、弱	裏、技、術、法、印、卷、毒、身、命、波、勝、負、戦、飛、投、逃、助、守、伝、散、落、化、変、覚、修、練、超、認、禁、封、追、捜、捕、倒、殺、刺、渡、盗、破、解、消、危、怖、恐、苦	忍、敵、影、幻、秘、刀、姿、霧、里、潜、隠、狩、襲、縛、討、奪、離、滅、厳	遁、掟、狙、斬
侍	5	13	36	36	10
	生、気、国、天、道	死、仕、首、悪、強、者、家、真、旅、力、町、門、世	勝、殺、刺、倒、助、突、勤、参、負、許、情、望、志、恥、礼、腕、血、腹、官、命、客、師、将、殿、武、若、戦、馬、奥、酒、術、城、罪、宿、流、技	討、護、悟、酌、攻、継、振、奉、貢、魂、恨、恩、義、己、侍、士、衆、敵、姫、輩、懷、紋、柄、刀、劍、矢、刃、弓、跡、鬼、勘、傷、剛、筋、峠、藩	斬、詫、鬻、仇、袴、袴、鞘、槍、鎧、隙

※旧JLPTの漢字出題基準による（国際交流基金・日本国際教育協会2004）

4.2 初級漢字 100 によるジャンル用語 1000 の漢字語カバー率

表 5 は、各ジャンルの初級漢字 100 で、ジャンル用語 1000 のうち、漢字を含む語の何%をカバーしているかを示したものである。なお、表中の「初」「中」「上」はジャンル用語のレベル（初級 200、中級 500、上級 1000）を示している。この結果から、初級漢字 100 でジャンル用語の 46.2%-59.1%をカバーしていることが示された。ジャンル別にみると、カバー率の高い順に恋愛→学校→忍者→侍となっている。単純に言えば、ジャンルでもっとも基本的な漢字 100 を学べば、特定ジャンルのマンガに現れる漢字語の半数が理解できることになる。さらに、漢字を含まない、かなで書かれた用語も読めると考えると、そのカバー率はさらに恋愛（71.4%）、学校（65.8%）、忍者（54.9%）、侍(49.2%)となる。

この結果は、特定のジャンルの基本的な漢字を学ぶことで、同ジャンルの用語理解にもつなげられることを示唆するものである。つまり、学習者にとって興味のあるジャンルの漢字学習から始め、基礎漢字からの語彙の広がりを出すことなどで、効果的に理解語彙を広げることができると考えられる。

表 5 初級漢字 100 によるジャンル用語 1000 の漢字語カバー率

レベル	恋愛			学校			忍者			侍		
	初	中	上	初	中	上	初	中	上	初	中	上
語数	138	204	358	163	238	417	192	272	450	192	372	481
カバー率	76.1	59.3	52.5	68.1	60.5	53.0	55.7	48.9	49.6	56.8	45.6	42.4
	59.1			58.2			50.7			46.2		

4.3 初級漢字 100 の品詞分類

ジャンル別特徴として、初級漢字 100 の品詞分類（名詞、動詞、形容詞）の結果を表 6 に示す。初級漢字 100 は、既述の通り、単漢字で語として成立し、かつ応用力の高い漢字を選定しているが、ジャンルによって品詞の割合には特徴が表れた。まず、全体的な品詞割合としては、名詞、動詞、形容詞の順に多かった。特に圧倒的に名詞が多いジャンルは、侍(74%)、学校(73%)である。動詞が多いのは、忍者(51%)、恋愛(47%)で、ストーリー展開に関わる動詞が多い。一方、形容詞は少ないが、他と比べて顕著なのは恋愛（20%）であった。

この結果から、日本語教育への応用の際には、初級漢字のジャンルによる品詞別特徴を利用し、侍や学校なら語彙マップなどで名詞をカテゴリー化する活動、忍者や恋愛ならマンガのストーリー展開の動詞を鍵にした読みや作文活動、恋愛はさらに感情形容詞を使った活動などに広げると効果的だと考えられる。

表 6 初級漢字 100 の品詞分類

	名詞	動詞	形容詞
恋愛	33	47	20
	愛、一、癒、色、嘘、腕、占、運、縁、男、女、顔、彼、傷、絆、子、恋、声、心、純、性、力、手、年、友、仲、話、人、本、胸、目、指、気	会、懂、遊、扱、生、疑、奪、恨、選、追、送、怒、押、落、勝、変、比、告、断、誘、信、抱、伝、包、連、照、泊、取、泣、悩、慣、寝、離、引、触、負、待、守、迷、見、持、妬、喜、別、笑、想、感	甘、幼、鈍、初、美、深、優、弱、悪、嫌、悲、苦、恐、寂、幸、好、楽、冷、恥、欲
学校	73	22	4
	英、科、級、組、系、欠、限、語、高、国、答、才、時、式、室、社、塾、小、数、席、専、卒、中、机、点、問、届、年、罰、班、部、文、勉、祭、窓、門、休、理、寮、頭、員、男、親、女、係、子、師、職、長、徒、友、仲、案、位、裏、階、館、朝、噂、同、紙、蔽、靴、実、全、題、力、隣、番、費、昼、服、名	遊、集、荒、受、教、落、覚、帰、書、学、勝、通、騒、叱、授、出、怠、習、入、読、礼、忘	難、秀、優、新、悪
忍者	41	51	8
	忍、者、敵、一、上、下、裏、影、技、術、幻、法、印、遁、掟、秘、卷、書、刀、毒、薬、山、土、火、風、水、空、波、木、霧、里、身、体、命、心、姿、気、目、口、手、足	行、見、生、死、勝、負、戦、動、走、飛、潜、投、逃、助、守、伝、分、散、集、使、落、隠、化、変、覚、修、練、超、認、禁、封、追、狙、探、狩、襲、捕、縛、倒、殺、斬、刺、討、渡、盗、奪、破、解、離、消、滅	早、強、弱、危、怖、恐、厳、苦
侍	74	24	2
	情、望、魂、恨、恩、気、義、志、恥、礼、腕、首、血、腹、鬚、官、悪、命、己、仇、客、侍、士、師、衆、将、敵、殿、姫、武、者、輩、懐、袴、袴、紋、柄、刀、劍、鞘、矢、刃、槍、弓、鎧、跡、家、戦、馬、奥、鬼、勘、傷、国、剛、酒、術、城、真、隙、筋、旅、力、罪、天、道、峠、藩、町、門、宿、世、流、技	生、討、勝、斬、護、殺、刺、悟、死、酌、攻、倒、助、仕、突、繼、勤、振、奉、参、負、貢、許、詫	若、強

4.4 中上級漢字 150 の内容分類

中上級漢字 150 の漢字語を各ジャンルの内容別に分類したものを表 7-10 に示す。各ジャンルに特徴的な内容的な漢字語群があることが示された。例えば、「人物」はジャンル共通に現れたカテゴリーだが、各ジャンルの漢字語に重なりはなく、各ジャンル特有の人物関連語の集まりとなっている。

日本語教育への活用には、ジャンル特有の内容的カテゴリーを利用し、漢字語をカテゴリーのまとまりで理解したり、広げたりすることができるだろう。例えば、恋愛なら容姿や性格の漢字語を紹介し、マンガの登場人物の容姿や性格を形容する、学校なら授業や学業の漢字語を利用し、学園マンガの主人公の一日をモデルに、授業や生活について漢字語で作文するなど、内容カテゴリーごとの漢字語を具体的な活動に活用できるだろう。

表 7 中上級漢字 150 内容分類「恋愛」

人物	相手、異性、お嫁さん、彼女、彼氏、親友、先輩、年下、友達、仲間、人気者、本命、元彼
容姿・性格	一番、色気、笑顔、臆病、男前、大人っぽい、同い年、強引、強情、硬派、個性的、最高、最低、地味、純情、上品、親近感、誠実、清純、繊細、大胆、頼もしい、独身、特別、鈍感、表情、不器用、雰囲気、包容力、無邪気、目立つ、面食い、理想、外見、性格、態度、魅力
動作・行動・展開	愛し合う、言い寄る、意識する、一緒、浮気、落ち込む、遠恋、我慢、勘違い、期待、拒否、口止め、経験、軽蔑、結婚、幻滅、後悔、号泣、誤解、告白、逆恨み、刺激、失神、嫉妬、失恋、邪魔、執着、紹介、勝負、進展、信用、赤面、相談、抱き合う、包み込む、出会い、同情、同棲、戸惑う、似合う、一目惚れ、侮辱、振り向く、返事、約束、誘惑、両思い、別れ話
感情	愛情、印象、快感、感激、感情、気分、釘付け、好意、自信、下心、真剣、素敵、素直、切ない、大事、退屈、大好き、ため息、虜、不安、平気、見栄、未練、夢中、迷惑、勇気、予感、本音、心配
時	運命、偶然、倦怠期、瞬間、誕生日、将来
小道具・その他	お守り、禁句、薬指、指輪、携帯、化粧、手料理、記念、口実、密室、作戦、障害、条件、可能性、関係、秘密、恋愛

表 8 中上級漢字 150 内容分類「学校」

校内	屋上、音楽室、学生寮、教室、教卓、掲示板、更衣室、校舎、講堂、購買、黒板、視聴覚室、出席簿、職員室、食堂、食券、体育倉庫、道場、図書館、日誌、非常階段、保健室、窓際、廊下、学校、高校
人物・関係	学級委員、家庭教師、帰国子女、校長、後輩、秀才、受験生、主将、首席、

	女子、新人、新任、親友、生徒、絶交、選手、先生、先輩、男子、担任、転校生、同級生、特待生、友達、人気者、風紀委員、不良、保護者、問題児、友情、優等生
進路	合格、志望校、宿題、進路、推薦、退学、中退、難関、入試、偏差値、母校、名門、模試、予備校、落第、留年
授業・毎日	居残り、下校、欠席、仮病、見学、自習、実験、早退、遅刻、調理実習、寝坊、昼休み、放課後、徹夜、日直、当番
学業	赤点、暗記、教科書、参考書、試験、実力、数学、成績、追試、答案、筆記用具、必修、復習、平均点、勉強、補習、満点、目標、課題、授業、意見
課外活動	朝練、委員会、遠足、合宿、球技大会、試合、送別会、大会、全国、体操、朝礼、部活、補欠、優勝、両立、努力、青春
行事	行事、修学旅行、新学期、席替え、卒業、夏休み、入学式、文化祭、教育実習、集合
ルール	規則、共学、私語、私服、生活指導、制服、茶髪、暴力、没収、丸坊主、門限、提出、反省

表 9 中上級漢字 150 内容分類「忍者」

動作・行動・展開	足止め、殺める、争う、暗殺、生き残る、一服盛る、犬死する、奪い取る、裏切る、恨む、追いつく、返り討ち、苦戦する、殺気、仕掛ける、仕組む、勝負、記す、先手を打つ、使いこなす、継ぐ、手を出す、動揺、潜む、封印する、伏せる、ぶっ倒す、捕獲、任せる、乱す、身を守る、戻る、殺る、油断
術・技	一瞬、一発、後ろ、空蝉、煙幕、奥義、雷、変わり身、幻覚、幻術、木の葉、正体、水牢の術、戦術、体術、瞳術、忍術、忍法、秘術、必殺、秘伝、分身、変化、山奥
武器・道具	網、鎌、火薬、煙、剣、忍び刀、手裏剣、書物、道具、毒薬、縄、武器、巻物、薬草、
人物	伊賀、一族、英雄、追い忍、長、隠密、仇、間者、狐、曲者、くノ一、下忍、甲賀、侍、刺客、使者、忍の者、宿敵、上忍、先代、代目、手下、仲間、忍者、抜け忍、化け物、人質、風神
修行・任務	証、一心、命がけ、依頼、覚悟、勝ち目、我慢、義、危険、訓練、気配、効果、護衛、心得、攻撃、作戦、指南、忍び狩り、使命、集中、修行、修業、精神、体得する、手荒い、憎い、任務、秘密、密談、目印、目標
能力	足手まとい、一人前、一番、皆伝、限界、合格、実力、力、優秀、勇氣
体	足の裏、頭、身体、傷口、首、実像、実体、素早い、致命傷

表 10 中上級漢字 150 内容分類「侍」

人物	赤子、足軽、兄者、許婚、居候、奥方、落武者、追手、恩人、公家、曲者、
----	------------------------------------

	下手人、劍豪、劍士、雑魚、刺客、師匠、師範、将軍、商人、素人、新参者、代官、大将、大名、達人、町人、使い手、弟子、殿様、野武士、藩士、飛脚、人斬り、百姓、武家、武士、武将、無礼者、猛者、門下生、役人、用心棒、世継ぎ、流浪人、浪人、外道、正体、素性、身分、分際
戦・武器	加勢、合戦、援軍、決戦、剣術、降参、五角、殺気、竹刀、勝負、真剣、成敗、太刀、致命傷、敗北、必殺、武具、宝刀、木刀、丸腰、味方、無傷、無敵、脇差、稽古、急所、怪我、居合、最期、背後
場所	江戸、大奥、御所、宿場、城下町、関所、茶屋、峠、奉行所、道場
動作・行動	威張る、寝返る、脱藩、参上、辛抱、土下座、破門、奉公、油断、容赦、世直し、修行、武者修行、覚悟、観念
抽象観念	生き様、心得、宿命、正義、忠義、武士道、本分、名誉、面子、天誅
定型表現	御意、御免、天下無双、免許皆伝、失敬
時	今宵、時代、先刻
様子・感情	屈辱、高貴、質素、大儀、無様、不利、無茶、見事
服装・その他	隠居、合点、家紋、着物、小判、参勤、戦国、手筈、天下、度胸、年貢、羽織、幕府、触書、道連れ、屋敷、野望、流派

5. 複数ジャンルに現れる初級漢字

2~4ジャンルにまたがって現れる漢字としては、以下のようなものがある。これらの漢字を知っていれば、さまざまなジャンルのマンガの理解に役立つため、優先度の高い漢字であると言えるだろう。

教育における利用としては、幅広いジャンルの漢字語から共通する漢字を当てる活動などにより、ジャンルによって、基本的な漢字がどのように広がりを持つのか、漢字の広がりに興味を持つきっかけなどに利用できるだろう。

(1) 4ジャンル

【恋愛、学校、忍者、侍】勝

(2) 3ジャンル

【恋愛、学校、忍者】落

【恋愛、学校、侍】力、悪

【恋愛、忍者、侍】生、気、負

(2) 2ジャンル

【恋愛、学校】遊、男、女、子、年、友、仲、優

【恋愛、忍者】一、奪、追、変、心、恐、伝、手、苦、離、守、見、目、弱

【恋愛、侍】腕、恨、傷、恥

【学校、忍者】集、裏、覚、敵、書

【学校、侍】国、師、門、礼

【忍者、侍】命、討、刀、斬、殺、刺、死、者、術、倒、助、戦、強、敵、技

6. おわりに

本稿では、アニメ・マンガの日本語に現れるジャンル漢字の特徴を明らかにするとともに、日本語教育への応用を考えるため、5つの観点からジャンル漢字のデータ分析を行った。

まず、初級漢字 100 と旧 JLPT の出題基準レベルとの比較により、初級漢字 100 の 90-98%が JLPT 出題基準の範囲内であること、ジャンルにより漢字レベル分布に差があることなどが示された。この結果から、マンガに現れる漢字を学ぶことは、一般的な日本語教育上にも役立つことが示唆された。また、学校や恋愛などのジャンルがより理解しやすいこと、全ジャンルで 2 級レベルの漢字が多いことから、中級レベルの漢字学習への活用の可能性を示した。次に、ジャンルの初級漢字 100 によって用語 1000 の漢字語の 46-59%をカバーしていることがわかった。これは、好きなジャンルの初級漢字を学べば、ジャンルの頻出用語の多くの理解につながる、つまり、特定ジャンルのマンガを読むための助けとなるということであり、学習の動機づけとして大きな可能性が示された。初級漢字 100 の品詞分類からは、ジャンルによって品詞の割合に特徴があり、名詞は侍、学校、動詞は忍者、恋愛、形容詞は恋愛が多いことが示された。ジャンル漢字を学ぶ際には、ジャンルによる品詞の特徴を生かすと効果的だと考えられる。一方、中級漢字 150 の内容分類によって、各ジャンルの漢字語彙の内容的な特徴も明らかになった。漢字語をジャンルに特徴的な内容のまとまりで提示することで、漢字から漢字語への広がりを確認できるとともに、意味的な整理にも役立つだろう。そして、ジャンルにまたがって現れる漢字は、マンガに現れる漢字の広がりを知るきっかけとなり、また幅広いジャンルに現れる最も基礎的かつ応用力のある漢字とも言えるため、マンガの漢字の導入にも適しているといえるだろう。

本稿では、マンガによく現れる漢字は、一般的な日本語教育にも応用可能であり、かつ、特定ジャンルのマンガを日本語で理解するために、基礎的な漢字から理解語彙を拡大できることを示した。日本語教育への応用においては、学習者の興味やレベルに合ったジャンルを取り上げ、初級漢字から漢字語への広がり示して漢字への興味や関心を喚起するとともに、特定ジャンルの品詞や内容分類の特徴を生かし、最終的に「マンガが読める！」と実感できるような活動を取り入れることが効果的だと考えられる。

注

- 1 本稿では、「アニメ・マンガ」を海外で人気のある日本のアニメーションや漫画を指す総称として用いる。これは、海外において「Anime」や「Manga」といった用語が特に日本製（あるいは日本スタイルを含む）の作品を指すものとして浸透しているため、また海外においてはテレビシリーズでアニメ化されて人気を博したマンガ作品が翻訳されヒットするなど、両者が切り離せない関係にあるためである。なお、今回分析対象としたセリフにおける漢字の抽出にはマンガを利用しているが、いずれもアニメ化されたマンガ作品である。
- 2 アニメ・マンガの日本語学習のきっかけ、動機づけの役割に関する先行研究については熊野（2010）で概観している。また、熊野・廣利（2008）では、国際交流基金関西国際センターで実施されている海外の研究者・大学院生を対象とした日本語研修において「アニメ・マンガ」研究を専門とするものが急増していると報告している。留学生に関しては、月刊日本語 2008年5月号で、国内の留学生 1160人を対象とした調査結果として、日本に興味をもったきっかけの90%がサブカルチャーであり、その内75.5%が漫画やアニメだと報告している。
- 3 「アニメ・マンガの日本語」Webサイト開発とサイトの概要については熊野・川嶋（2011）を参照のこと。
- 4 日本語学習者への聞き取り調査の詳細および結果については、熊野（2010）を参照のこと。
- 5 アニメ・マンガに現れる表現について、用語については伊藤（2003）、熊野（2011）、オノマトペについては河崎（2006）、服部（2008）、役割語については金水（2003,2007）、定延（2005,2006）、性差については佐竹（2003）、因（2007）、方言については後藤（2008）、その他談話表現についてはメイナード（2005）などが指摘している。
- 6 該当作品、ジャンル用語データ抽出の方法や概要については熊野（2011）を参照のこと。
- 7 国際交流基金と日本国際教育協会が実施している日本語能力試験は、1級から4級の4レベルであった旧試験から、2010年度よりN1からN5の5レベルの新試験に改訂されたが、新試験においては出題基準は公表されていない。そのため、本稿では、旧試験の出題基準における旧試験の出題基準における1~4級の漢字一覧にて比較した。

参考文献

- 伊藤雅光（2003）「英語圏における日本の漫画・アニメ用語集の構造と基本用語の特徴」『日本語学』Vol.22、No.12、2003年11月号、66-74、明治書院
- 河崎佳代（2006）「日本のマンガのスペイン語訳における擬音語・擬態語の表現分析（日本語教育に向けて）」『Lingua』17号、105-123、上智大学一般外国語教育センター
- 金水敏（2003）『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』、岩波書店
- （2007）『役割語研究の地平』、くろしお出版
- 熊野七絵・廣利正代（2008）『「アニメ・マンガ」調査研究—地域事情と日本語教材—』『国

- 際交流基金日本語教育紀要』第4号、55-69、国際交流基金
- 熊野七絵 (2010) 「日本語学習者とアニメ・マンガ～聞き取り調査結果から見える現状とニーズ～」『広島大学留学生センター紀要』第20号、89-103、広島大学留学生センター
- 熊野七絵・川嶋恵子 (2011) 「『アニメ・マンガの日本語』Web サイト開発—趣味から日本語学習へ」『国際交流基金日本語教育紀要』第7号、103-117、国際交流基金
- 熊野七絵 (2011) 「アニメ・マンガの日本語～ジャンル用語の特徴をめぐって～」『広島大学国際センター紀要』第1号、35-49、広島大学国際センター
- 国際交流基金・日本国際教育協会 (2004) 『日本語能力試験出題基準<改訂版>』、凡人社
- 後藤早貴 (2008) 「漫画における関西弁の特徴と役割」『人間文化』第24号、73-83、神戸学院大学人文学会
- 佐竹久仁子 (2003) 「テレビアニメの流布する「女ことば/男ことば」規範」『冊子「ことば」』24号、43-59、現代日本語研究会
- 定延利之 (2005) 「マンガ・雑誌のことば」上野智子・定延利之・佐藤和之・野田春美編『ケーススタディ日本語のバラエティ』、126-133、おうふう
- (2006) 「ことばと発話キャラクタ」『文学』第7巻第6号、117-129、岩波書店
- 因京子 (2007) 「翻訳マンガにおける女性登場人物の言葉遣い」『日本語とジェンダー』第7号、6-18、日本語ジェンダー学会
- 服部亜依子 (2008) 「教科書には見られない感情表現のオノマトペ—教科書とマンガの比較を通して—」『日本語教育学世界大会 2008 予稿集』2、247-250、大韓日語日文学会
- メイナード、泉子・K (2005) 「第3章 ジャンル別談話の表現と構造 14. マンガ・アニメの世界」『日本語教育の現場で使える談話表現ハンドブック』、112-117、くろしお出版